



2023年3月期
第2四半期決算説明資料

新家工業株式会社

2022年12月2日

証券コード7305

目次

I. 2023年3月期 第2四半期 連結決算概要	2
II. 2023年3月期 第2四半期 セグメント毎の概要	15
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	20
IV. 株主還元	23

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入しております。

売上高

231.1 億円

(前年同期比 + 24.2 %)

売上
総利益

54.4 億円

(前年同期比 + 36.3 %)

営業
利益

25.5 億円

(前年同期比 +101.5 %)

経常
利益

28.7 億円

(前年同期比 + 105.9 %)

親会社株主に
帰属する
四半期純利益

18.6 億円

(前年同期比 + 101.2 %)

【EPS】
1株当たり
四半期純利益

334円69銭

(前年同期比 + 101.2 %)

2023年3月期 第2四半期 決算のポイント

前年同期比 : **【増収増益】**

鉄鋼業界においては、原材料、燃料価格の高騰、自動車等の半導体を中心とする部品供給の遅れの長期化、急激な円安、ウクライナ情勢の長期化により、国内の鋼材需要は総じて弱含みの様相。

当第2四半期累計期間は、普通鋼製品の需要に一部陰りが見え始めたもののステンレス鋼製品の需要は底堅く推移し、ステンレス鋼製品の販売価格の引き上げと販売数量の増加が増益に大きく寄与した。

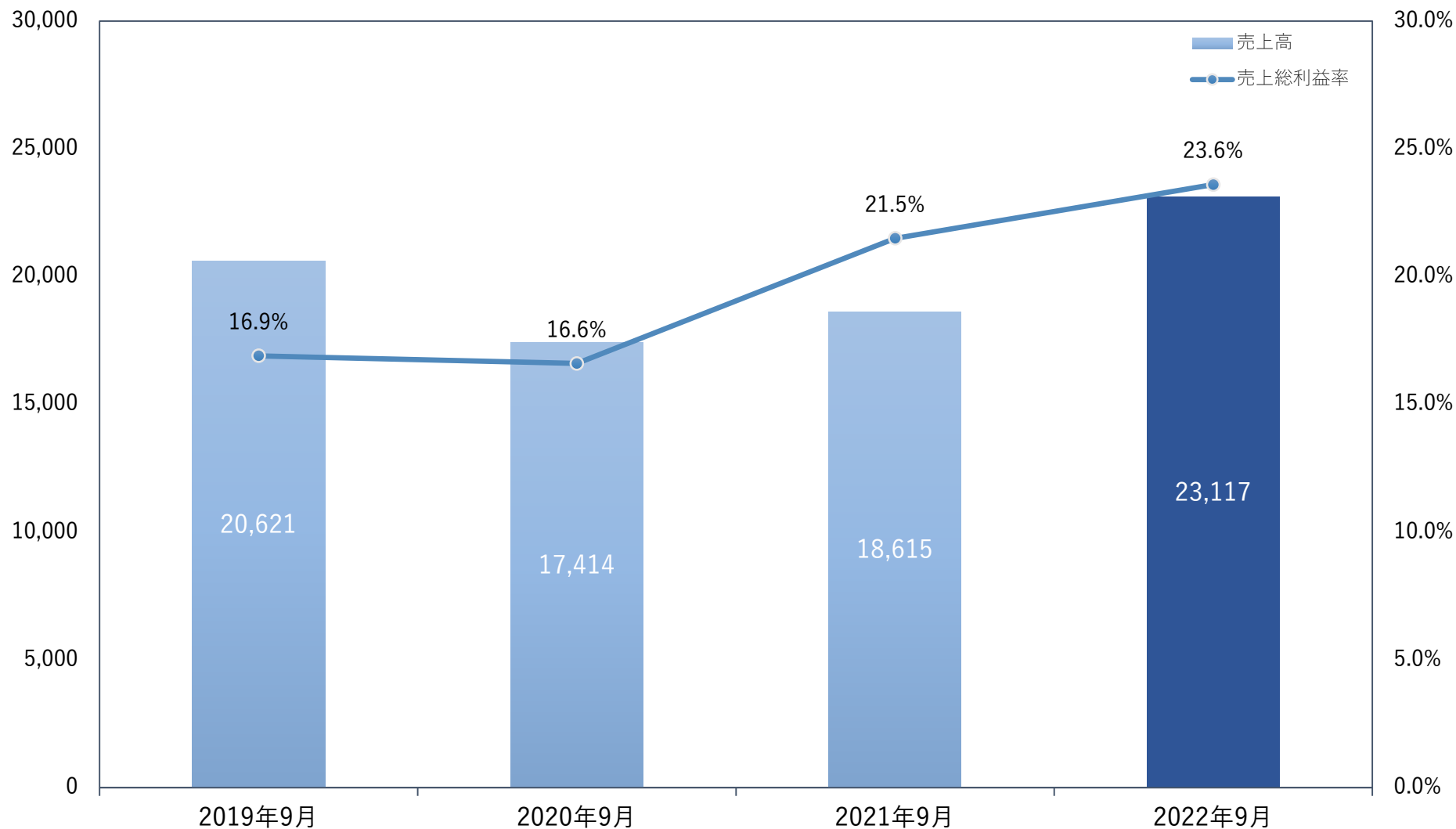
当社グループでは、原材料やエネルギー、副資材等のコスト上昇分に対し、販売価格の引き上げに注力するとともに需要の変化に対し、効率的な生産を実施することでコスト削減に努めた結果、増収増益となった。

I.2_ 2023年3月期 第2四半期 連結損益計算書 (前年同期比較)

(単位：百万円)	当第2四半期 (2022年9月)		前第2四半期 (2021年9月)		前年 同期比	前年通期 (2022年3月期)	
	金額	(売上高比)	金額	(売上高比)		金額	(売上高比)
売上高	23,117	(100.0%)	18,615	(100.0%)	+24.2%	40,760	(100.0%)
売上原価	17,670	(76.4%)	14,618	(78.5%)	+20.9%	31,784	(78.0%)
売上総利益	5,447	(23.6%)	3,997	(21.5%)	+36.3%	8,975	(22.0%)
販売費及び一般管理費	2,888	(12.5%)	2,727	(14.7%)	+5.9%	5,591	(13.7%)
営業利益	2,558	(11.1%)	1,270	(6.8%)	+101.5%	3,384	(8.3%)
営業外収益	340	(1.5%)	155	(0.8%)	+119.3%	463	(1.1%)
営業外費用	23	(0.1%)	28	(0.2%)	▲17.8%	66	(0.2%)
経常利益	2,875	(12.4%)	1,396	(7.5%)	+105.9%	3,781	(9.3%)
特別利益	0	(0.0%)	-	(-)	-	78	(0.2%)
特別損失	1	(0.0%)	6	(0.0%)	▲82.9%	116	(0.3%)
税金等調整前四半期純利益	2,874	(12.4%)	1,389	(7.5%)	+106.9%	3,742	(9.2%)
法人税等合計	937	(4.1%)	449	(2.4%)	+108.7%	1,140	(2.8%)
非支配株主に帰属する四半期純利益	74	(0.3%)	14	(0.1%)	+411.6%	28	(0.1%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,863	(8.1%)	925	(5.0%)	+101.2%	2,573	(6.3%)

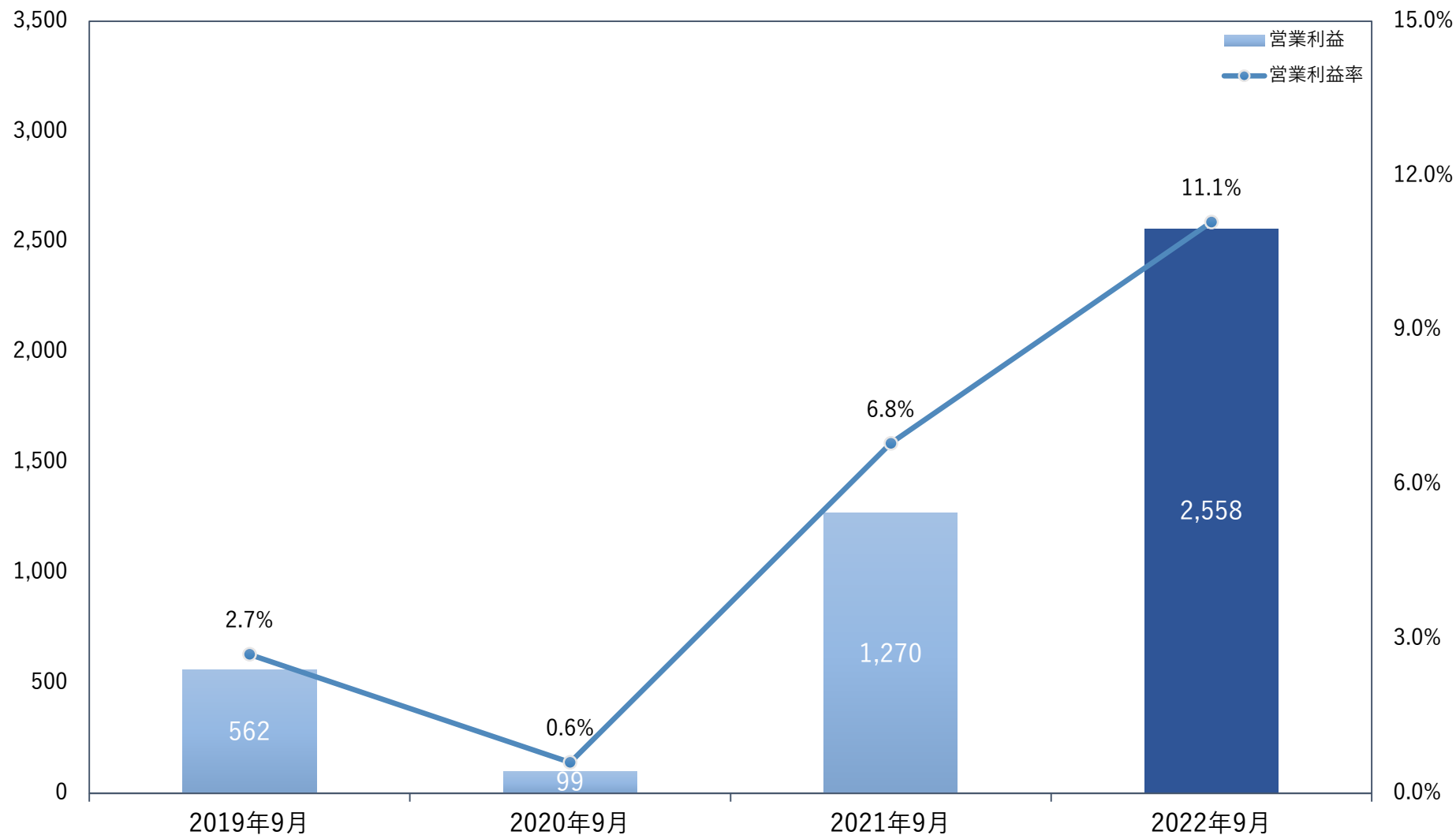
I.3_1 2023年3月期 第2四半期 連結売上高（推移表）

（単位：百万円）



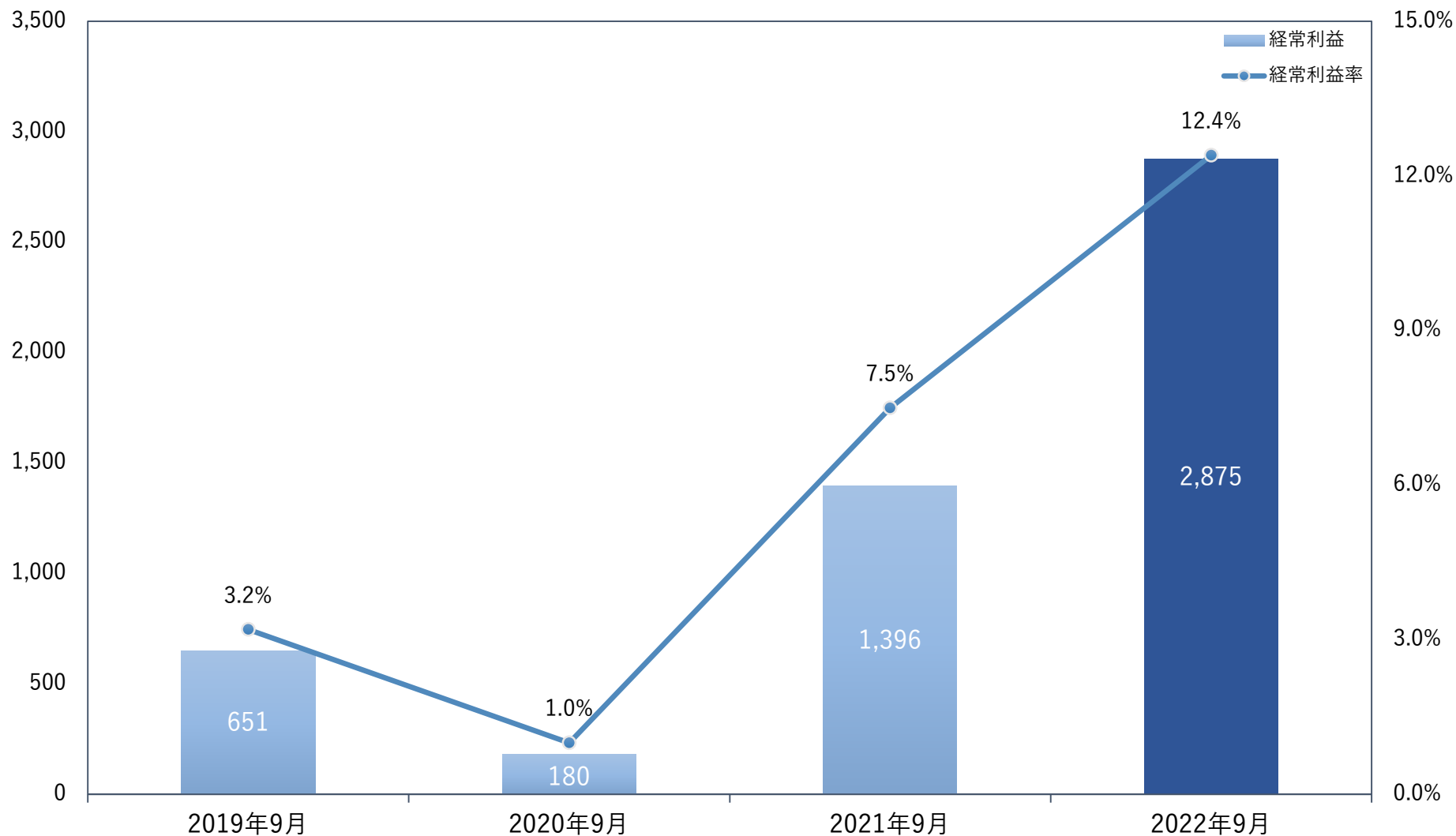
I.3_2 2023年3月期 第2四半期 連結営業利益（推移表）

（単位：百万円）



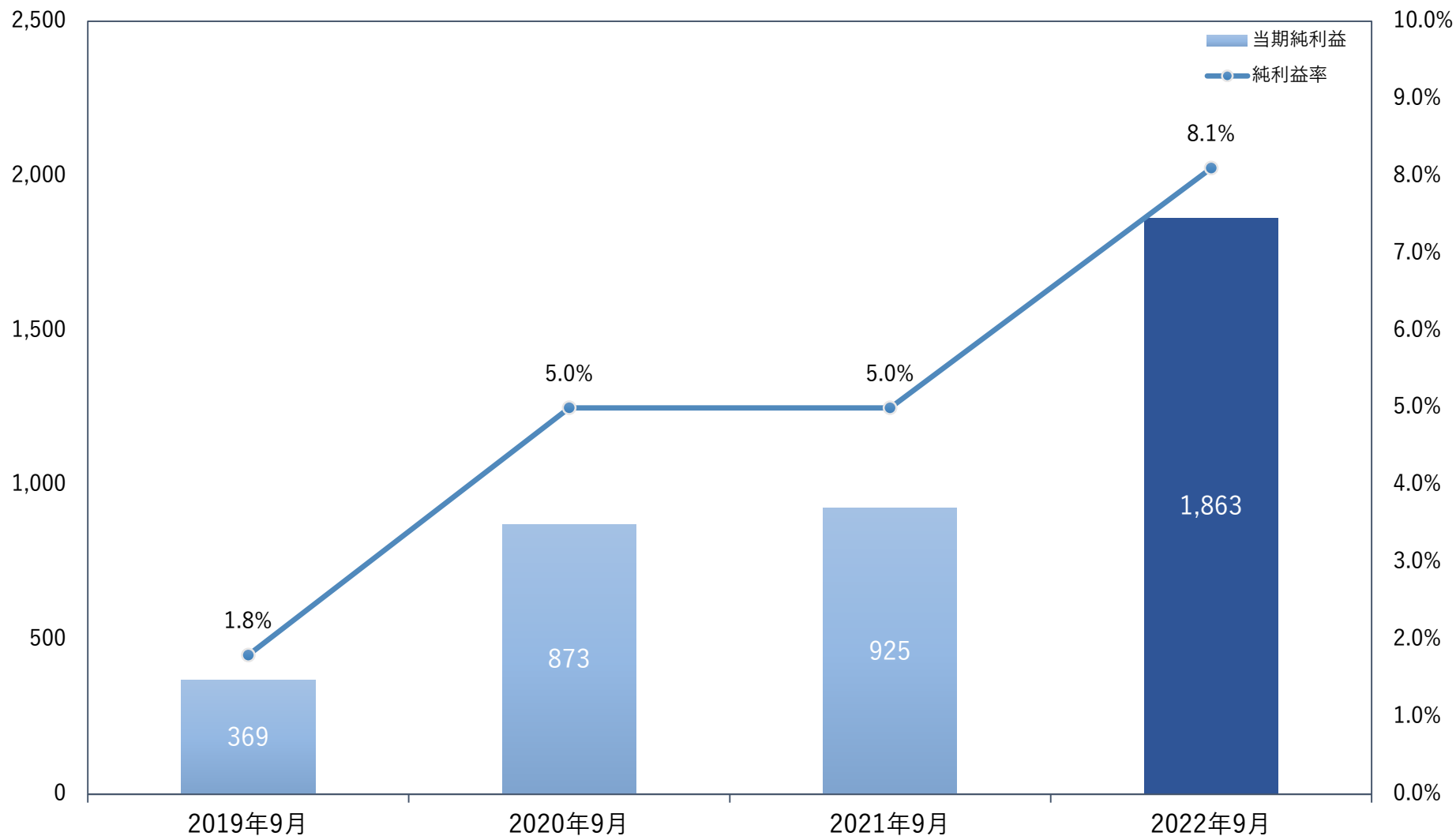
I.3_3 2023年3月期 第2四半期 連結經常利益（推移表）

（単位：百万円）



I.3_4 2023年3月期 第2四半期 連結当期純利益（推移表）

（単位：百万円）



I.4_ 2023年3月期 第2四半期 連結当期純利益（概況）

純利益額	18億63百万円	前年同期比	+9億37百万円 (+101.2%)
純利益率	8.1%	前年同期比	+3.1pt

主な変動要因

1.営業利益の増加 + 12億88百万円

主力の鋼管事業において、前年度から引続き様々な要因を背景に各種原材料価格等が上昇、それに伴い鋼管製品の販売価格の引き上げを実施

- ⇒ 当第2四半期累計期間においては、普通鋼製品の需要に一部陰りが見え始めたもののステンレス鋼製品の需要は底堅く推移
ステンレス鋼製品の販売価格の引き上げと販売数量の増加が増益に大きく寄与

2.法人税等合計の増額 + 4億88百万円

- ⇒ 業績向上に伴い、支払うべき法人税等が増加

（当第2四半期：9億37百万円、前第2四半期：4億49百万円）

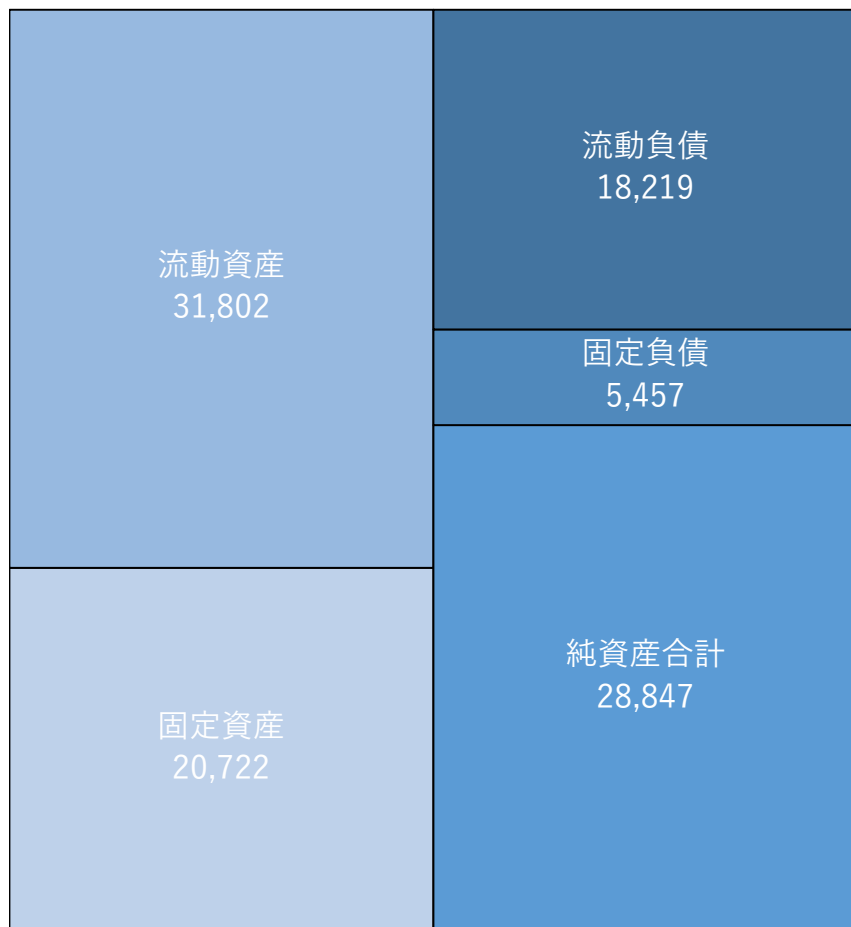
I.5_1 2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表の状況

	当第2四半期 (2022年9月)	前年期末 (2022年3月)	増減額	主な変動事項	
(単位：百万円)					
流動資産	32,530	31,802	+728	製品および商品の増加 その他（未収金）の減少	+1,160百万円 ▲196百万円
資産の部 現金及び預金	7,207	8,141	▲934	-	
固定資産	20,655	20,722	▲66	有形固定資産の減少	▲82百万円
資産合計	53,185	52,524	+661	-	
流動負債	17,276	18,219	▲943	支払手形および買掛金の減少 その他（未払金）の減少	▲264百万円 ▲697百万円
負債の部 固定負債	5,376	5,457	▲81	その他（繰延税金負債）の増加 長期借入金の減少	+113百万円 ▲159百万円
負債合計	22,652	23,676	▲1,024	-	
株主資本	27,885	26,329	+1,556	利益剰余金の増加	+1,556百万円
純資産の部 その他の包括利益累計額	2,353	2,309	+43	為替換算調整勘定の増加	+60百万円
非支配株主持分	294	208	+85	-	
純資産合計	30,533	28,847	+1,686	-	
負債純資産合計	53,185	52,524	+661	-	

I.5_2 2023年3月期 第2四半期 連結貸借対照表 (推移)

前年期末(2022年3月)_連結BS

(単位：百万円)



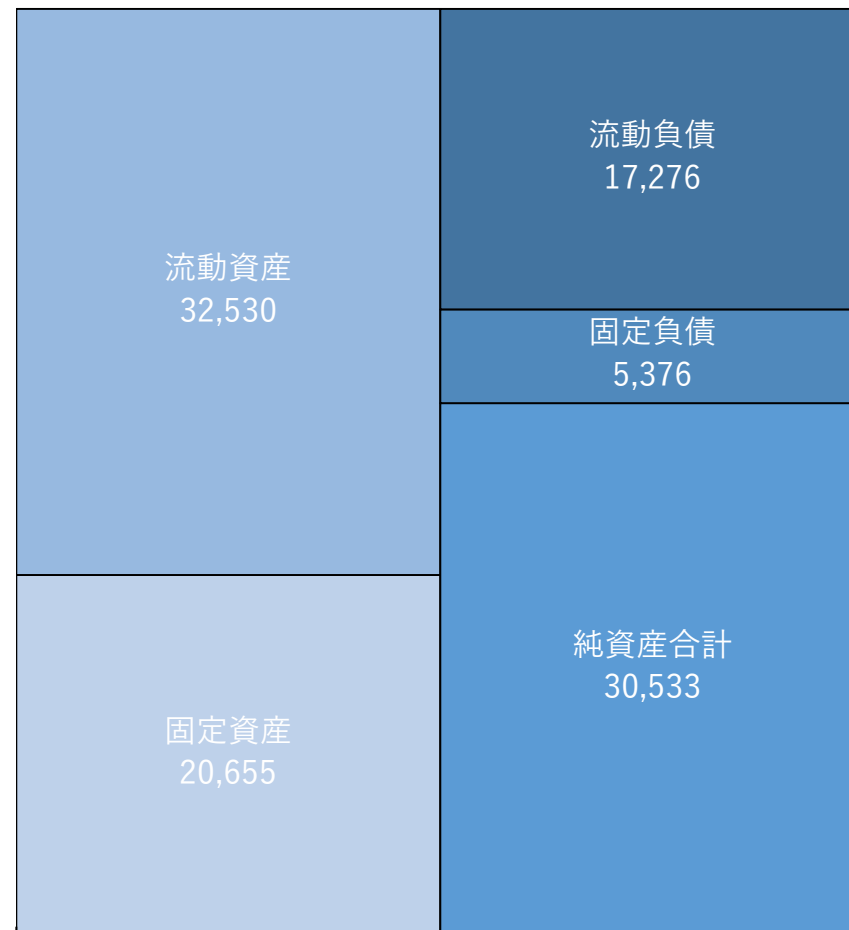
資産合計 52,524

負債・純資産合計 52,524



当第2四半期(2022年9月)_連結BS

(単位：百万円)



資産合計 53,185

負債・純資産合計 53,185

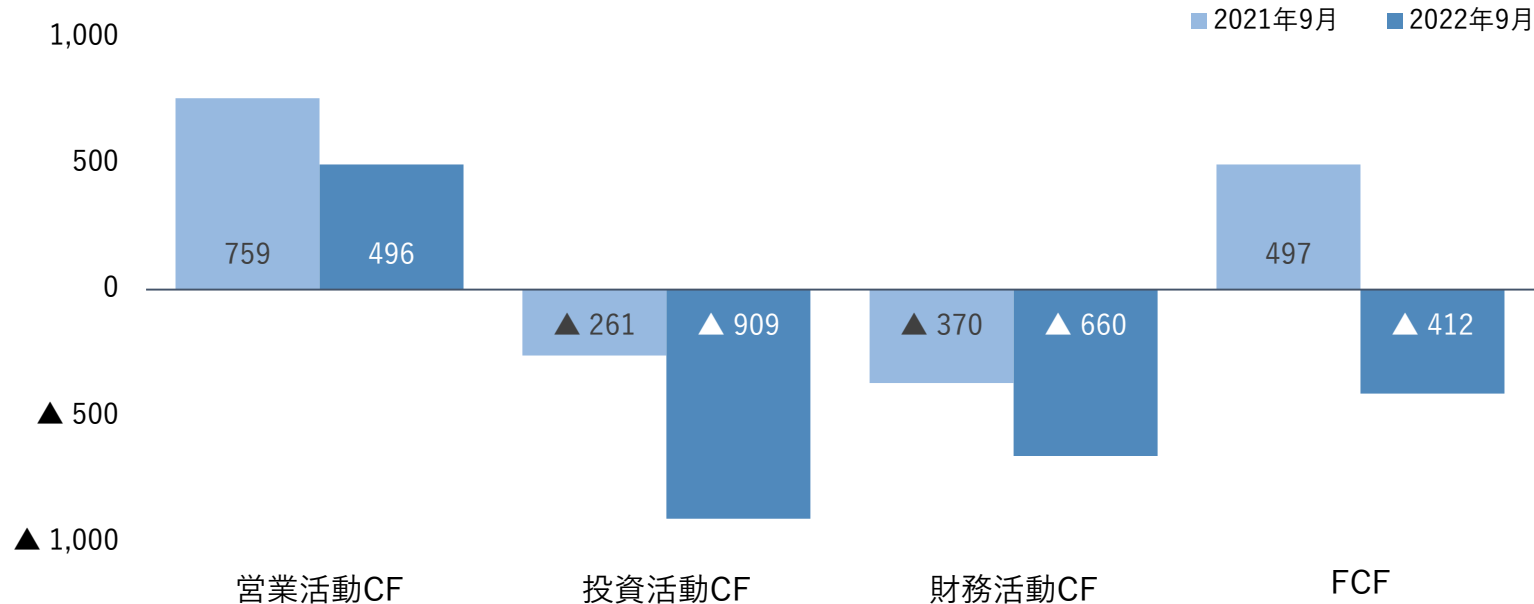
I.6_1 2023年3月期 第2四半期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)	当第2四半期 (2022年9月)	前第2四半期 (2021年9月)	増減	主な変動事項	
営業活動による キャッシュ・フロー	496	759	▲262	税金等調整前四半期純利益 仕入債務の増減額	+1,485百万円 ▲1,672百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲909	▲261	▲647	有形固定資産の取得による支出	▲890百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	▲660	▲370	▲289	短期借入金の純増減額	▲244百万円
現金及び現金同等物 に係る換算差額	138	36	+102	-	-
現金及び現金同等物 の増減額 (△は減少)	▲934	163	▲1,098	-	-
現金及び現金同等物 の期首残高	8,141	8,409	▲267	-	-
現金及び現金同等物 の四半期末残高	7,207	8,573	▲1,366	-	-
フリー キャッシュ・フロー	▲412	497	▲910	(営業活動によるCF + 投資活動によるCF)	

I.6_2 2023年3月期 第2四半期 連結CF概況

営業活動によるCF		投資活動によるCF		財務活動によるCF	
496百万円 (前年同期 759百万円)		▲909百万円 (前年同期 ▲261百万円)		▲660百万円 (前年同期 ▲370百万円)	
主な項目		主な項目		主な項目	
税引前四半期純利益	2,874百万円	投資有価証券の取得による支出	▲5百万円	短期借入金の純増減額	▲172百万円
減価償却費	418百万円	有形固定資産の取得による支出	▲890百万円	長期借入金の返済による支出	▲159百万円
たな卸資産の増減額	▲1,309百万円	有形固定資産の売却による収入	3百万円	配当金の支払額	▲306百万円
法人税等の支払額	▲1,065百万円	無形固定資産の取得による支出	▲16百万円		

(単位：百万円)



目次

I. 2023年3月期 第2四半期 連結決算概要	2
II. 2023年3月期 第2四半期 セグメント毎の概要	<u>15</u>
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	20
IV. 株主還元	23

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。
%表示は、小数点以下第1位未満を四捨五入してております。

II.1_ 2023年3月期 第2四半期 セグメント別売上高等

	当第2四半期 (2022年9月)			前第2四半期 (2021年9月)			増減		
	(単位：百万円)	金額	構成比 (営業利益率)	金額	構成比 (営業利益率)	金額	率		
売上高	鋼管関連	22,609	97.8%	-	18,137	97.4%	+4,471	+24.7%	
	自転車関連	188	0.8%	-	163	0.9%	+25	+15.6%	
	不動産等賃貸	303	1.3%	-	303	1.6%	+0	+0.0%	
	その他	16	0.1%	-	10	0.1%	+5	+49.6%	
	小計 (連結PL計上額)	23,117	100.0%	-	18,615	100.0%	+4,502	+24.2%	
営業費用	鋼管関連	20,308	98.8%	-	17,066	98.4%	+3,242	+19.0%	
	自転車関連	208	1.0%	-	177	1.0%	+31	+17.6%	
	不動産等賃貸	37	0.2%	-	38	0.2%	▲0	▲1.5%	
	その他	12	0.1%	-	8	0.0%	+3	+46.9%	
	調整額	▲7	▲0.0%	-	55	0.3%	▲62	-	
小計	22,559	100.0%	-	17,345	100.0%	+3,213	+18.5%		
営業利益	鋼管関連	2,300	89.9%	(10.2%)	1,071	84.4%	(5.9%)	+1,229	+114.7%
	自転車関連	▲20	▲0.8%	(-)	▲14	▲1.1%	(-)	▲5	-
	不動産等賃貸	266	10.4%	(87.6%)	265	20.9%	(87.5%)	+0	+0.3%
	その他	3	0.1%	(23.6%)	2	0.2%	(22.2%)	+1	+59.0%
	調整額	7	0.3%	-	▲55	▲4.3%	-	+62	-
小計 (連結PL計上額)	2,558	100.0%	(11.1%)	1,270	100.0%	(6.8%)	+1,288	+101.5%	

II.2_1 2023年3月期 第2四半期 鋼管関連セグメント (概況)

売上高	226億09百万円	前年同期比	+ 44億71百万円 (+ 24.7%)
営業利益	23億00百万円	前年同期比	+ 12億29百万円 (+114.7%)

主な変動要因

1. 普通鋼製品

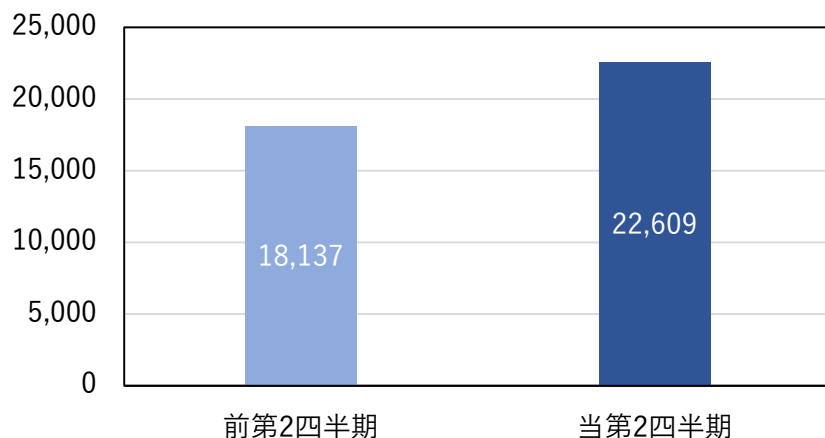
- ・ 物流倉庫やデータセンターなど大型案件を中心とした需要は底堅く推移。
- ・ 中小案件は鋼材価格の高騰の影響等により需要に陰りが見え始め、販売数量は減少。

2. ステンレス鋼製品

- ・ ニッケル価格の高騰に伴う製品価格の先高感により販売数量は増加。
- ・ 半導体装置や医療・食品、薬品関連、水処理等の公共投資関連を中心に需要は底堅く推移。

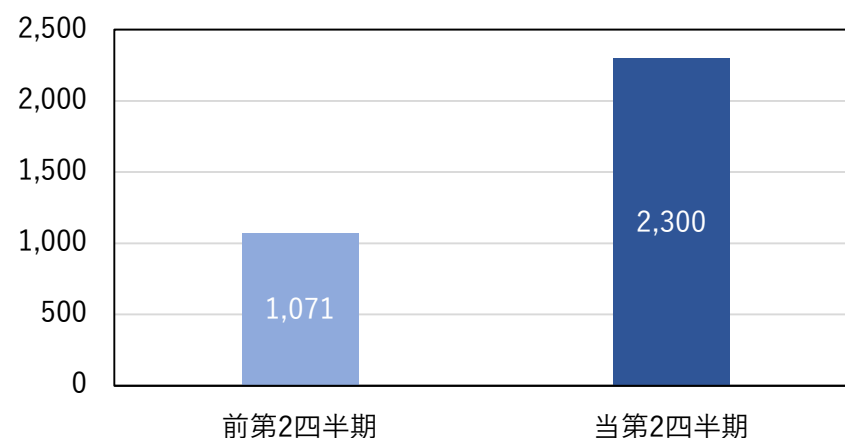
(単位：百万円)

売上高 (鋼管関連)



(単位：百万円)

営業利益 (鋼管関連)

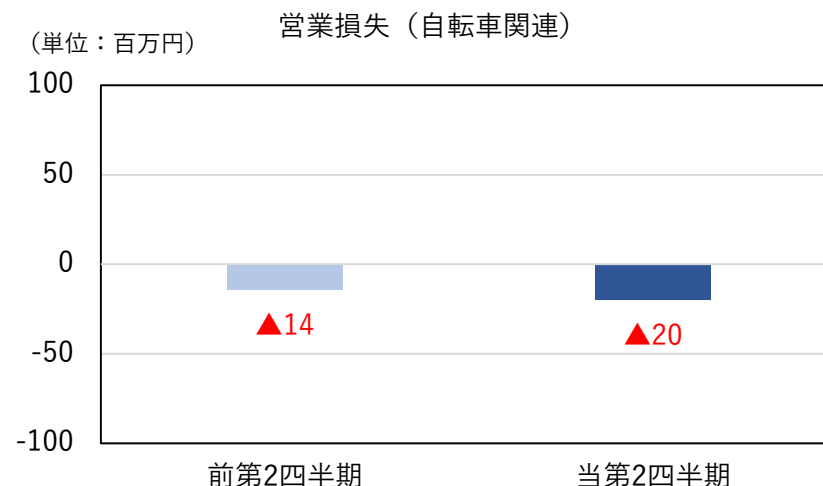
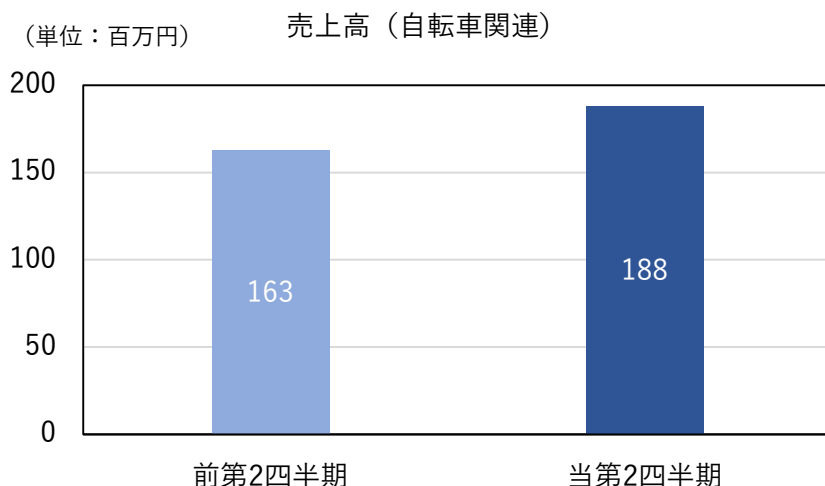


II.2_2 2023年3月期 第2四半期 自転車関連セグメント（概況）

売上高	1億88百万円	前年同期比	+ 25百万円 (+ 15.6%)
営業損失	▲20百万円	前年同期比	▲ 5百万円

主な変動要因

1. 部品不足による完成自転車の供給遅延は継続
 - ・ 生産拠点である中国や東南アジアの回復に伴い、国内市場における品薄状態は徐々に改善されつつあるものの、部品不足による完成自転車の供給遅延は続いている。
2. 輸入自転車に関する外部環境の悪化
 - ・ 新ブランド（POLYGON）の投入など積極的な営業活動を実施したが、急激な円安による仕入れ価格上昇など、輸入自転車販売をとりまく環境は厳しい状況が続いている。



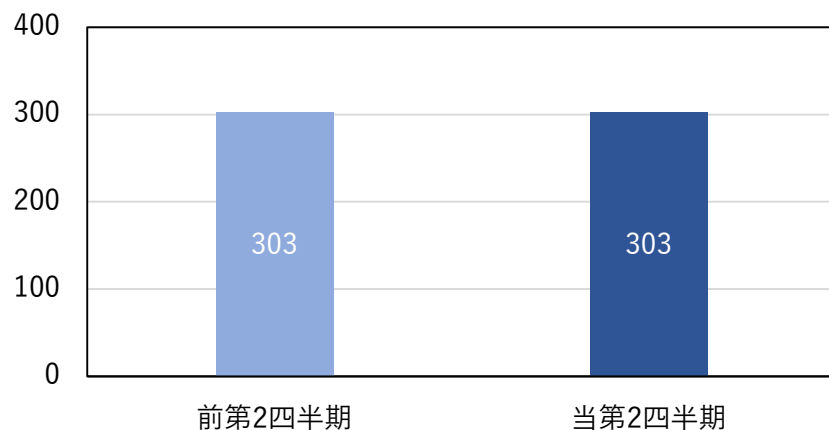
II.2_3 2023年3月期 第2四半期 不動産等賃貸セグメント (概況)

売上高	3億03百万円	前年同期比	+ 0百万円 (+0.0%)
営業利益	2億66百万円	前年同期比	+ 0百万円 (+0.3%)

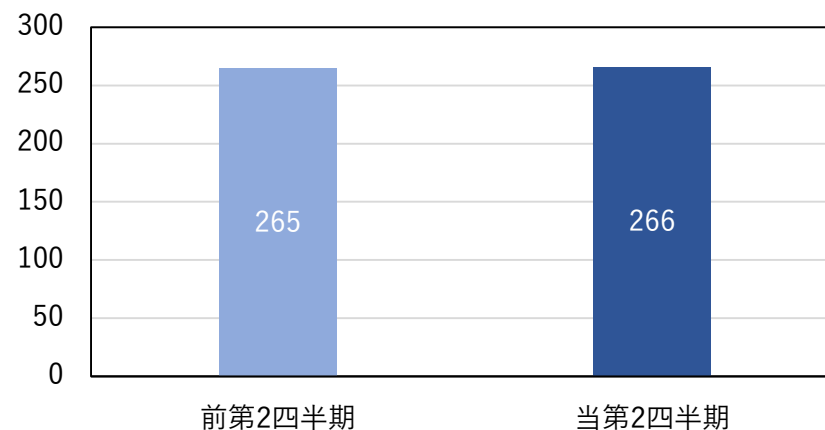
主な要因

- ・ 前年同期から大幅な変動なし

(単位：百万円) 売上高 (不動産等賃貸)



(単位：百万円) 営業利益 (不動産等賃貸)



目次

I. 2023年3月期 第2四半期 連結決算概要	2
II. 2023年3月期 第2四半期 セグメント毎の概要	15
<u>III. 2023年3月期 通期連結業績予想</u>	<u>20</u>
IV. 株主還元	23

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

Ⅲ.1_ 2023年3月期 通期連結業績予想の見通し

今後の見通し

■ 足下は堅調に推移しているものの下期後半にかけ鋼材需要の下振れリスクの懸念あり

ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、経済回復が期待される一方で、ウクライナ情勢の長期化や半導体を中心とする部品供給制約による生産活動の停滞、急激な円安、物価上昇など、鋼材需要の下振れリスクが懸念される。

■ 当社グループとしての取り組み

当社グループにおいては、急激な市況の変化に対応するとともに、適正な販売価格の維持と生産性の向上によるコスト低減を図り、収益確保に努める。

■ 当期の業績見通し

2022年8月5日に通期の業績予想を修正。

III.2_ 2023年3月期 通期連結業績予想値_2022年8月5日修正分

売上高

460 億円

(前年度比 +12.9%)

営業
利益

44 億円

(前年度比 +30.0%)

経常
利益

46 億円

(前年度比 +21.7%)

親会社株主に
帰属する
当期純利益

29 億円

(前年度比 +12.7%)

1株当たり
当期純利益

520円96銭

(前年度比 +12.7%)

※上記の予想数値は、発表日現在において入手可能な情報および当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいた見通しであり、実際の業績等は、今後様々な要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

目次

I. 2023年3月期 第2四半期 連結決算概要	2
II. 2023年3月期 第2四半期 セグメント毎の概要	15
III. 2023年3月期 通期連結業績予想	20
<u>IV. 株主還元</u>	<u>23</u>

※本資料における数字は、百万円未満を切捨てております。

%表示は、小数点以下第1位未満を切捨てております。

IV. 配当金実績および予想

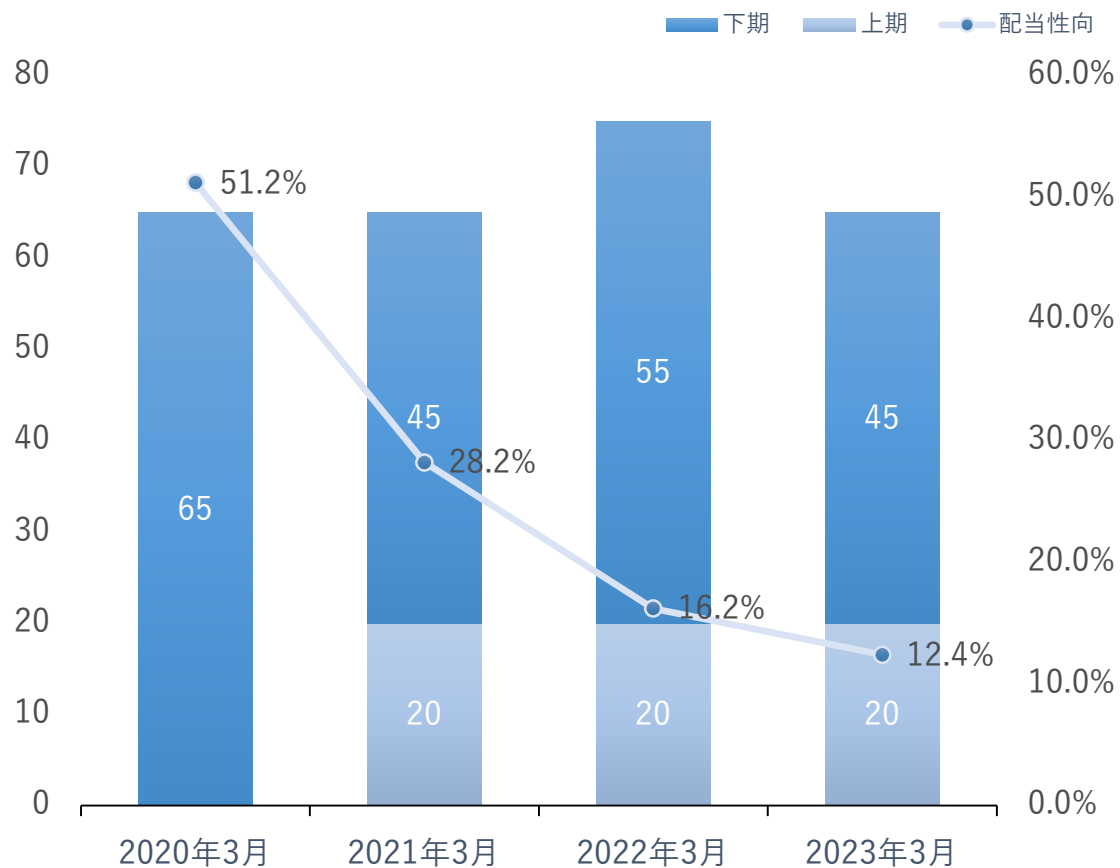
基本方針 安定的かつ継続的な配当の実施（配当性向等は定めておりません）

年間配当予想については、中間 20 円、期末 45 円、年間で 65 円を予定。

2022年3月期配当金（前期）	
中 間	20円00銭
期 末	55円00銭
年 間	75円00銭
配当性向	16.2%

※期末配当には、10円の記念配当を含みます

2023年3月期配当金（当期）	
中 間(予定)	20円00銭
期 末(予定)	45円00銭
年 間(予定)	65円00銭
配当性向(予定)	12.4%





ディスクレーマー

本資料は投資家の参考に資するため、新家工業株式会社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として作成したものです。本資料に記述されている業績予想ならびに将来予測は、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。よって、その完全性を保証するものではなく、様々な要因の変化で実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

以上を踏まえた上で、投資の決定はご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。